

## 平成16年度試験研究成果書

区分	普及	題名	平成17年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤、殺菌剤			
〔要約〕平成17年度の病害虫防除基準の改訂に伴い、新規に採用した殺虫剤と殺菌剤及び変更事項の概要を示した。						
キーワード	病害虫防除基準	殺菌剤	殺虫剤	改訂事項	病害虫部 病理昆虫研究室 県北研究所 営農技術研究室	

### 1 背景とねらい

平成17年度の防除基準作成会議に提案し新規に採用されることになった農薬および変更事項を紹介し、病害虫防除対策の資とする。

### 2 成果の内容

主な新規採用農薬および変更事項は以下のとおり。作物ごとの改訂事項は表1参照。

#### (1) 水稲

- ア トリコデルマ・アトロビリデ水和剤：種子消毒
- イ ジクロメット水和剤、イミダクロプリド・カルプロパミド水和剤：葉いもち防除
- ウ メトミノストロビン粒剤、フェノキサニル粒剤：無人ヘリによる穂いもち防除
- オ クロチアニジン粉剤：カメムシ類防除

#### (2) 畑作

- ア プロピコナゾール乳剤：無人ヘリによる小麦の赤かび病防除
- イ イミノクタジンアルベシル塩水和剤、イミベンコナゾール粉剤：だいずの紫斑病防除
- ウ B T水和剤：ひえ（作物新設）のアワノメイガ防除

#### (3) 野菜

- ア バチルス・ズブチリス水和剤：さやえんどうのうどんこ病、灰色かび病防除
- イ クロルピクリンくん蒸剤（フロー剤）：きゅうり等の本畑消毒
- ウ ピリダリル水和剤：キャベツ、はくさい等のコナガ、ヨトウガ、アオムシ防除
- エ トルフェンピラド乳剤：だいこんのコナガ、キスジノミハムシ防除

#### (4) 果樹

- ア フルオルイミド水和剤：りんごの斑点落葉病防除
- イ スタイナーネマ・カーポカプサエ：りんごのモモシンクイガ
- ウ ネクタリン（作物新設）：シメコナゾール水和剤、クレソキシムメチル水和剤、銅水和剤、オキシテトラサイクリン水和剤、マシン油乳剤

#### (5) 花き

- ア アセタミプリド粒剤、トルフェンピラド乳剤：きくのはもグリバエ類
- イ フィプロニル水和剤：ストックのコナガ

#### (6) その他

環境戦略計画Speed`98リスト削除に伴い、岩手農作物病害虫・雑草防除基準作成要領別表1の採用の基準に基づき検討し、必要性が認められた農薬は再採用した。

### 3 成果活用上の留意事項

改訂項目をもとに、地域の発生病害虫を吟味し、防除計画の際の参考にする。

### 4 成果の活用方法等

#### (1) 適用地帯又は対象者等

県下全域、生産者および普及センター、農協指導者等

#### (2) 期待する活用効果

新規薬剤の採用により、主要病害虫の防除の効率化が図られる。

### 5 当該事項に係る試験研究課題

(402) 新農薬の効果検定と防除基準作成（昭和49年～）

## 6 参考資料・文献

## 7 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 平成17年度病害虫防除基準に採用した主な農薬

農薬名〔商品名〕	対象		使用方法	採用理由及び使用上の留意点
	作物名	病害虫名		
トリコロマ・アトロピリデ水和剤〔エコホープドライ〕	水稻	もみ枯細菌病 苗立枯細菌病 ばか苗病	催芽前～催芽時、200倍希釈、 24時間浸漬	生物農薬。100g袋での流通、室温保存 が可能という利点から個人農家で使用し やすい。
ジクロメット水和剤〔デラウス顆粒 水和剤〕	水稻	いもち病 （葉いもち）	使用時期：移植時 使用方法：200倍、0.5%/箱	葉いもちに効果が高い。育苗箱に均一 に散布できる
イミダクロプリド・カルプロバミド水 和剤〔ウインアドマイヤー顆粒水 和剤〕	水稻	いもち病 （葉いもち）	使用時期：移植時 使用方法：100倍、0.5%/箱	葉いもち、初期害虫に効果が高い。育 苗箱に均一に散布できる
オキシプロピリン水和剤〔オリブライ 1キログラム〕	水稻	いもち病 （穂いもち）	使用時期：7月中旬 使用方法：1kg/10a	無人ヘリ使用薬剤として採用。
フェニキサニル水和剤〔アチーブ1 キログラム〕	水稻	いもち病 （穂いもち）	使用時期：出穂20～10日前 使用方法：1kg/10a	無人ヘリ使用薬剤として採用。
クロチアニジン水和剤〔ダントツ粉 剤DL〕	水稻	カメムシ類	使用時期：収穫14日前まで 使用方法：3kg/10a	カメムシ類に効果が高い。
プロピコナゾール乳剤〔デルト乳 剤25〕	小麦	赤かび病	使用時期：収穫7日前まで 使用方法：8倍、0.8%/10a	無人ヘリ使用薬剤として採用。収穫7 日前まで使用できる。
イミノクタジナルベシル塩水和剤 〔ベルコート水和剤、フロアブル〕	だいず	紫斑病	使用時期：収穫7日前まで 使用方法：1000倍	紫斑病に効果が高い。
イミベンコナゾール水和剤〔マネー ジ粉剤DL〕	だいず	紫斑病	使用時期：収穫30日前まで 使用方法：3～47g/10a	紫斑病に効果が高い。
BT水和剤〔トアロー水和剤CT〕	ひえ	アワノメイガ	使用時期：収穫前日まで 使用方法：1000倍	生物農薬。アワノメイガに有効。
バチルス・ズブチリス水和剤〔ボ トキラー水和剤〕	さやえんどう	うどんこ病 灰色かび病	使用時期：－ 使用方法：1000倍	生物農薬。うどんこ病、灰色かび病に有 効。
バチルス・ズブチリス水和剤〔イ ンプレッション水和剤〕			使用時期：－ 使用方法：500倍	
クロロピクリンくん蒸〔クロピク ロー〕	きゅうり等	土壌病害虫	使用時期：－ 使用方法：20～30%/10a	作業は非常に簡便で、また被曝がほと んどない。
ドリダリル水和剤〔プレオフロブ ル〕	キャベツ はくさい等	コナガ、ヨトウガ アオムシ	使用時期：収穫7日前まで 使用方法：1000倍	鱗翅目害虫に効果が高い。
トルフェンピラト乳剤〔ハチハチ 乳剤〕	だいこん	コナガ、キスジノミ ハムシ	使用時期：収穫14日前まで 使用方法：2000倍	キスジノミハムシ成虫に有効。
フルオルイミド水和剤〔スパットサ イド水和剤〕	りんご	斑点落葉病	使用時期：収穫3日前まで 使用方法：1000倍	8月下旬、9月特散使用。収穫3日前まで 使用できる。斑点落葉病に効果が高 い。
スタイナーネマ・カーボカプサエ 〔バイオセーフ〕	りんご	モモシクイガ	使用時期：－ 使用方法：2.5億万頭、0.5%/ 10a	生物農薬。モモシクイガに有効。6月 ～7月特別散布。雨天時注注で効果が 高い。
アセタミプリド水和剤〔モスピラン 水和剤〕	きく	ハモグリバエ類	使用時期：定植時 使用方法：1g/株	ナモグリバエに効果が高い。
トルフェンピラト乳剤〔ハチハチ 乳剤〕			使用時期：発生初期 使用方法：1000倍	
フィプロニル水和剤〔プリンスフロ アブル〕	ストック	コナガ	使用時期：発生初期 使用方法：2000倍	コナガに効果が高い。